

Vol.053

福島市議会真政会報  
— 平成30年4月 —

# 真政会報

真政会綱領

私たちは地方自治の信念に則り行政に対する監視と提言を怠ることなく、常に市民と行政のパイプ役として「市民」「議会」として「市当局」との三位一体を旨とし、市民福祉の向上と地域の振興・発展、真の市政伸展に邁進することを誓う！



川又 康彦

二階堂 武文

菅田 憲孝

白川 敏明

萩原 太郎

小松 良行

尾形 武

穴戸 一照

黒澤 仁

渡辺 敏彦

真田 広志

大平 洋人

## 会長挨拶



黒澤 仁

東日本大震災、原発事故から7年が経過しましたが、今なお除染だけでなく様々な問題により福島市を取り巻く環境は厳しい状況にあります。震災前に調査された少子高齢化社会の進行による本県の人口減推定予測

## 平成30年3月定例会議を終えて

は更に大きく減少すると報道されており、本市においてもこの課題に早急に歯止めをかけなければならぬことから予算編成にあたっては子育て世代への施策は最優先課題と言えます。一方で東北中央自動車道の開通による交流人口の拡大や、東京オリパラの福島市開催など復興の基盤は整ってま

りやりました。本年は市制施行111周年、1尺くしの年に中核市に移行しました。新しい福島復興創生を確実に具現化するため、健全な財政運営を基調として、今後更に拡大する大型公共事業等が次世代への過大な負担とならないよう、真に必要な事業の厳選を見極め、市民の皆様の信頼と期待に応えながら二元代表制の一翼を担うべく活動してまいります。

## 平成30年3月議会定例会議の報告

3月定例会議は3月1日に開会し会期を27日間としました。最初に木幡市長より「ふくしまの新ステージ」に向かって飛び立つために「ひと・暮らしいきいきふくしま」の実現、「産業・まちに活力ふくしま」の実現、「風格ある県都ふくしま」の実現を政策目標とした平成30年度福島市一般会

計予算他の議案52件、更に追加議案10件が提出され審議いたしました。更に議案等に対し当会派から5名が一般質問を行いました。

算特別委員長に選出されるところにも、萩原太郎議員、白川敏明議員が総括質疑を行いました。慎重なる審査を行い、定例会最終日には全議案が賛成多数で可決され、当会派より提出いたしました「予防接種に対する国の財政措置を求める意見書」も全会派の賛成により採択されました。

## 平成30年度予算について

平成30年度一般会計当初予算は除染関連費用を除いて1,003億3,600万円と初めて一十億円を超える積極型予算となりました。主なものとして待機児童解消を目指し策定した待機児童対策緊急パッケージ中「保育の受け皿拡大」と「保育士の確保」のための各事業に13億9,346万円余

を、小中学校の耐震化の促進とトイレの様式化にそれぞれ10億7,937万円余、2億3,250万円を計上しました。高齢者支援の充実としては地域包括支援センターの増設を伴う地区見直しや市在宅医療・介護連携支援センターの設置などの事業に8億6,415万円余を。経済の活性化としては

新工業団地の造成事業や道の駅の基本・実施設計事業などに5億7,631万円余。スポーツのまちづくりの推進のため、福島体育館整備に5億6,095万円余、十六沼公園サッカー場の整備事業に4億6,900万円を計上するなど福島市の新ステージへの飛躍を目指した予算編成となりました。

## 1月25日緊急議会の開催

1月25日緊急会議が開かれ、議案第一号として、平成29年度一般会計補正予算における、待機児童解消促進事業費1,691万2千円を追加するとともに、春のふくしま観光緊急対策事業費1,770万円を計上し、議案第二号として、福島市設置条例の一部を改正する条例を制定する件で、政策調整部を設置し政策の総合調整、企画及び総合政策、広報、秘書に関する事項を担当するものであり、

両議案とも全会一致で可決されました。



# 各常任委員会・分科会の報告

常任委員会は、少人数で専門的に審議をつくすために設置される委員会で、それぞれが所管する事務の調査、議案、請願、陳情の審査などを行います。3月定例会議では、予算特別委員会が設置され、それぞれの分科会で、予算を審査いたしました。

## 総務 (定数8人) 【穴戸・小松・萩原】

**【市長公室】** 東京2020オリンピック・パラリンピック開催関連事業 3,200万円  
・野球・ソフボール協議開催準備事業や事前キャンプ誘致事業、大会機運を醸成するための事業等を行います。

**【財務部】** 公共施設の戦略的再編整備検討事業 65万円  
・老朽公共施設の戦略的再編整備について検討を進めます。

**【消防本部】** 消防基本計画等策定事業 27万円  
消防団新活動服整備事業 4,993万8千円  
・福島市消防基本計画と併せて、「常備消防行動計画」及び「新時代消防団計画」を策定します。また、消防団の活動服を国の新基準に基づき更新します。

## 文教福祉 (定数9人) 【真田・尾形・二階堂】

**【健康福祉部】** 新設する保健所の専門性を活かし関係機関との連携を進め市民の健康づくりを推進する。夜間急病診療所運営事業2億30万2千円、地域包括ケアシステムと高齢者福祉の充実8億6,415万3千円等。

**【こども未来部】** 待機児童の解消を目指し、平成31年4月の保育定員370名拡大に向け、認可保育施設の整備推進12億4,449万5千円、潜在保育士の確保と就労支援7,153万5千円等です。

**【教育委員会】** 幼小中学校のトイレ洋式化率80%を4か年計画で進める平成30年度は465基改修事業に2億3,250万円、小中学校耐震補強事業2億2,322万3千円等です。

## 経済民生 (定数9人) 【渡辺・黒澤・菅田】

**【環境部】** 新斎場整備全体事業費、約32億2,800万円のうち、平成30年継続費分新斎場整備費21億500万円を計上。

**【商工観光部】** 市公共施設のトイレ洋式化を4ヶ年で80%目標に推進し、高齢者や障がい者、外国人旅行者等の利便性の向上を図ります。

**【農政部】** 福島大学食農学類の施設整備に要する費用、平成30年度分として7億2,540万円を支援します。

**【市民安全部】** インターネットを活用したモニター制度による各種アンケート調査を行います。

**【公団特会】** 福島大笹生IC周辺に新たな工業団地の整備を進めます。全体事業費約10億4,000万円、平成30年度分工業団地整備費5億2,000万円を計上します。

## 建設水道 (定数8人) 【大平・白川・川又】

**【水道局】** 上水道未普及対策として3億7,320万円、老朽管更新や維持管理対策として17億4,382万円等です。

**【建設部】** 市営住宅ストック総合改善事業(老朽化改修事業)費5億2,900万円、大笹生ICループ内の「道の駅」の基本設計・実施設計等の地域振興施設整備事業費5,020万円、街路灯LED化推進事業費4,017万円、地域生活基盤整備事業費(自治振)1億5,000万円等です。

**【都市政策部】** 福島赤十字病院新築移転の支援のため4億5,633万円、バス路線運行維持対策費1億1,756万円等です。

# 真政会の要望が当初予算で実現!!

平成30年度一般会計予算は、歳入・歳出それぞれ1,348億4,000万円で、除染費用の減少により昨年度予算より減少しましたが、除染事業以外については過去最大規模で基金繰り入れなども行うものでした。当初予算における真政会の要望に対する予算措置は以下の通りです。

(単位:千円)

<b>1. オリンピック・パラリンピック開催を契機としたまちづくりの推進</b>	
東京2020オリンピック・パラリンピック開催関連事業費	32,000
福島体育館・武道館再整備事業費	560,952
十六沼公園サッカー場整備事業費	469,000
<b>2. 公共施設の戦略的再編整備計画の策定</b>	
公共施設戦略的再編整備検討事業費	650
中心市街地活性化推進費	1,096
<b>3. 周辺自治体との連携強化による観光戦略の構築</b>	
観光圏整備事業費	14,800
魅力発信事業費	5,177
東北六市連携事業費	9,335
<b>4. 福島の農産物の安全性の周知とブランド化の確立</b>	
風評対策費	21,957
くだもの消費拡大事業費	7,930
地域6次産業化推進事業費	4,288
くだもの加工品支援事業費	1,500
食品加工産業創出事業費	1,460
<b>5. 地域防災計画に則した地域自主防災組織の拡充と支援強化</b>	
地域防災訓練事業費	1,440
自主防災組織育成指導事業費	1,478
消防団新活動服整備費	49,938
<b>6. 安全安心のため放射能対策の更なる充実強化</b>	
除去土壌搬出等推進事業費	31,904,000
道路・ため池等放射性物質対策事業費	2,600,000
農産物・食品等放射能測定事業費	87,120
放射線健康管理事業費(ホールボディカウンタ検査)	78,004
妊婦・子ども等の放射線対策事業費(ガラスバッジ検査)	47,452
保育所・学校給食まるごと検査事業費	52,171
<b>7. 公民連携による地域包括支援システムの構築</b>	
地域包括支援センター運営費	322,171
地域包括支援センター機能強化事業費	94,855
生活支援体制整備事業費	34,200
在宅医療・介護連携推進事業費	18,855
<b>8. 待機児童解消と切れ目のない子育て支援策の充実・強化</b>	
待機児童解消促進事業費	1,436,716
保育所保育実施費	4,945,295
認定こども園費	857,627
地域型保育事業実施費	863,558
私立幼稚園費	126,736
子育て世帯応援手当費	335,108
子育て世代包括支援センター事業費	9,430
<b>9. 生活道路及び道路改良継続路線の整備促進</b>	
道路改良事業費(生活道路の整備)	351,102
地域生活基盤整備事業費	150,000
太平寺岡部線(御山町工区)改良工事費	107,700
曾根田町桜木町線(宮下町工区)改良工事費	100,800
杉妻町早稲町線改良工事費	150,700
椿沢線改良工事費	25,000
<b>10. 福島駅周辺活性化など新中心市街地活性化基本計画の着実な推進</b>	
八島町地区暮らし・にぎわい再生事業費	456,334
福島駅前通りリニューアル整備事業費	52,100
米町地区都市再構築型優良建築物等整備事業費	110,000
太田町地区市街地住宅供給型優良建築物等整備事業費	87,000
福島体育館・武道館再整備事業費(再掲)	560,952
中心市街地活性化推進費(再掲)	1,096
<b>11. 空き家解消に向けた具体的な施策の展開</b>	
空家等対策事業費	5,255
<b>12. 学校耐震化の促進</b>	
小・中学校耐震補強事業費【29年度補正前倒し含む】	1,079,377
福島養護学校校舎等改築事業費	81,200
<b>13. 学校敷地内及び通学路の安全確保</b>	
通学路等安全対策事業費	40,342
<b>14. 新時代消防計画の策定による機能別消防団の導入</b>	
消防基本計画等策定事業費	2,070

## 3月定例会議で採択された意見書・請願・陳情

<b>陳情</b>	●「公共工事における賃金等確保条例」(公契約条例)の早期制定を求めることについて ●待機児童解消、保育士配置基準の見直しと処遇改善を求める意見書提出方について
<b>請願</b>	●福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書方について
<b>意見書</b>	●予防接種に対する国の財政措置を求める意見書 ●福島大学食農学類(仮称)の設置、人材養成に係る財政支援を求める意見書 ●待機児童解消、保育士配置基準の見直しと処遇改善を求める意見書 ●福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書

## 平成30年度春季 議会報告会・意見交換会へお気軽にご参加ください

今回の、議会報告会・意見交換会では以下の4地域において、3月定例会議の内容を中心に市民の皆様にお伝えいたします。

開催日	開会時間	会場
5月7日(月)	午後7時	飯野学習センター2階講義室
5月8日(火)	午後7時	北信支所2階大会議室
5月9日(水)	午後6時30分	もちぎり学習センター2階ホール
5月11日(金)	午後1時30分	吾妻学習センター2階研修室

### 3月定例会一般質問（抜粋）

今定例会では、当会派より、菅田、一階堂、穴戸、川又真田の5名が市政について質しました。

#### 福島市の歯や口腔の現状とこれに関する条例について

**Q** 歯や口腔の健康の現状とこれに関する条例について伺う。

**A** 本市の歯・口腔の健康に関する現状については乳幼児期・学童期ともにむし歯有病率が国よりも高く、青年期・壮年期において歯磨き習慣が減少している現状であります。このことから、福島市健康づくりプラン2018において歯・口腔の健康の取り組みを重点推進項目に位置づけ、虫歯予防・歯周病予防で8020という健康づくり目標に向けて積極的に施策を進めてまいります。その中核として市民の生涯にわたる歯と口腔の健康づくりに関する施策を総合的かつ効果的に推進するため、福島歯科医師会等と連携しながら条例の制定に向けた検討を行ってまいります。

#### 発達障がいのある幼児の一貫した発達相談体制について

**Q** 発達障がいのある就学前幼児の一貫した発達相談体制について

**A** 発達障がいのある就学前養育支援体制の構築を図り、又、市立幼稚園の統廃合が始まる中、障がいのある幼児の受け入れ拡大を市立幼稚園は積極的に図るべきだが見解を伺う。

**Q** 平成31年に市立幼稚園がこども未来部に移管されるに伴い、就学前の教育・保育が一体的な管理運営となる事をふまえ、本市特別支援教育員を私立幼稚園等に派遣する等幼児期の一貫した支援体制を図って

#### 福島駅西口の駅前交番の必要性について

**Q** 福島駅西口交番の必要性について市の見解を伺う。

**A** 先般の市長と会派との懇談会で議員から出されたもので、私の方（市長）からも直接、警察にお尋ねしました。警察側の運用ルールでは、一つの駅の敷地内には交番は一つとまでということ、現状は東口駅前交番があるので難しい。しかし、一方で警察サイドでもい

#### 農家自身によるわな免許取得によるイノシシ被害低減について

**Q** わな免許の新規取得者の数を伺うとともに、わな免許新規取得者によるイノシシの捕獲頭数と捕獲を行うことによるイノシシ被害の低減についての認識を伺う。

**A** わな免許新規取得者数は平成28年度が22名、平成29年度は9名であり、平成29年度のイノシシ捕獲頭数は221頭中半数近い104頭がわな免許新規取得者によるものである。農家がわな免許を取得しイノシシ捕獲を行う新たな取り組みはイノシシ被害対策としても有効であるとの答弁でした。

#### 公共施設整備における優先順位の判断基準について

**Q** 限られた財源の中で、市民ニーズに的確に対応した公共サービスを提供していくためには、選択と集中によって、よりよい資産を未来に残すことが必要であり、重要度と緊急度により優先順位を決めた上で計画的に実施する必要がある。公共施設改修においても、更新の将来費用の見通しとして、当初10年間で全体事業費4,297億円

の34%を消化していく試算となっているが、今後市民サービスを展開するうえで機能の優先度をどのように判断するのか、それら基準について伺う。

**A** 今後における施設機能の優先度については、将来ニーズ、施設立地状況、運営及び利用状況、管理運営費などを踏まえ総合的に判断してまいります。

今回の一般質問の全体内容は、福島市議会ホームページ【<http://www.city.fukushima.fukushima.jp/gi-soumu/shise/shigikai/index.html>】

の「議会録画中継」でご覧いただけます。



### 霞が関において新年度の取組等を6省庁から直接聴取



1月30日、31日霞ヶ関の6省庁で福島に關連する諸課題を聴取しました。【厚生労働省】では保育分野の現状と課題について保育士の処遇改善とキャリアアップへの取り組み、幼児教育の無償化への取り組みを聴取しました。又、生活保護の制度の概要と生活保護世帯の進学支援等についても聴取しました。【環境省】では中間貯蔵施設への搬入と整備について平成32年度まで累計最大1,250万㎡の搬入の見通しであることを確認。中間貯蔵除去土壌の減容と再利用の可能性も聴取しました。【総務省】では連携中枢都市圏の現状と今後の取り組みとして福山市、姫路市、倉敷市などの事例を聴取しました。【内閣官房】では2020東京オリンピック・パラリンピックの福島市開催とホストタウンについて、事前合宿だけではない事後交流型のホストタウンが増加している現状と事例を確認しました。【農林水産省】では農業の6次産業化と風評被害対策について各種施策と、風評に対する流通実態調査の実施状況などを聴取。【内閣府】では稼げるまちづくりについてテーマ別の事例チャレンジ100を聴取しました。各省庁に真政会の要望を伝えるとともに、これからの福島の諸課題解決に生かしてまいります。

### 当会派が提出した意見書が全会一致で採択

#### 予防接種に対する国の財政措置を求める意見書

予防接種は伝染の恐れがある疾病の発生及びまん延を予防するために、公衆衛生の見地から実施し、国民の健康を保持するものである。そのうちヒブ感染症等の定期予防接種A類疾病は9割の地方交付税措置があり、接種率が高い。子供が、罹患しやすい疾病のうち任意予防接種であるロタウイルス感染症とおたふくかぜは国からの財政支援はないが、どちらも感染すれば、重症化し入院の必要性や、様々な合併症から後遺症の危険性もある。また、それぞれのワクチンの効果については、高い有効性を示しており保護者の関心は大きい。しかし、予防接種料金が高額で、保護者の負担が大きいことから、子供に等しく予防接種の機会を与えるため、予防接種費用については助成の必要がある。また、インフルエンザは定期予防接種B類疾病として、65歳以上等を対象に一部交付税措置があるが、今期も全国的にインフルエンザが大流行し、本市の小中学校等でも、学級閉鎖等が相次いでおり、授業の遅れとともに、罹患した場合にかかる国の医療費負担も考慮し、接種率の向上により罹患者を減らす必要がある。よって、国においては、次の措置を講じるよう強く求める。

- 1 ロタワクチン及びおたふくかぜワクチン接種に対し全額国の財政支援を講じること
- 2 インフルエンザ予防接種に対する国の助成を拡充すること
- 3 各ワクチンが不足することの無いよう、安定供給に対する対策を講じること

### 福島歯科医師会との意見交換会開催

1月25日（金）、福島県歯科医師会館2階の大会議室において、福島歯科医師会との意見交換会を開催し、当会派からは、黒沢会長はじめ7名の議員が参加。黒沢会長、福島歯科医師会の鈴木潤一会長の挨拶に続いて、今回提案の「福島歯と口腔の健康づくり推進条例（案）」と、「フッ素化合物洗口」について説明を受け、意見交換をいたしました。



行政視察

福島市の課題解決に向けた視察を実施

静岡市

中山間地域への移住支援制度について

2月2日(金)、静岡市役所を訪れて、市内の約80%の面積を占める「中山間地域への移住支援」について、農林水産部中山間地振興課から話を伺いました。

この地域主導型移住促進では、「移住促進事業補助金」が交付され、各地域団体による移住体験イベントの開催などを通じて、①受け入れ体制の強化、②地域住民の移住に関する本気度のPR、③空

き家情報バンク登録物件の増加、④移住前から知り合いを作れる、⑤詳しい地域情報を直接伝えられるなどのメリットがあり、平成28年実績は14世帯34人、平成29年実績は9世帯18人の好結果を生んでいます。定住の前に「交流」があり、知り合いになってから将来の定住に繋げていくという静岡市の取り組みを参考にし、本市にも提言してまいります。



▲中山間地域での移住支援制度について聴取

米沢市

今春オープン「道の駅米沢」を視察

東北中央道、福島・米沢間開通に伴い大笹生への「道の駅」建設が予定されていることから、平成30年1月24日(水)に「道の駅米沢」建設の経過等について説明を受けるとともに今春オープン予定で建設中の道の駅を視察しました。

整備に当たっては、平成25年に商工会議所・J.A・市場・旅客関係者などで構成された基本構想検討委員会を設立し協議した中で構想を策定。その後、基本計画・設

計と平行して開設に向けての運営会社の設立を進めることで建設と運営のコンセプトをオール米沢とし現在に至っているとのことでした。なお管理運営は官民出資の「株式会社アクセスよねざわ」が行っています。

現在、基本計画が策定された福島市の道の駅では、これから運営手法も含め検討中であることから地域活性化につながる手法策定に向け提言してまいります。



▲建設中の道の駅内での視察とこれまでの建設経過を聴取

福島市議会 真政会

第5回

市民の皆さんとの意見交換会

あなたの町内会は大丈夫ですか？  
「高齢者が元気に過ごせる地域づくり」について伺います。

平成30年  
開催日時 **5月16日(水)**  
午後2時～4時

開催会場 **市民会館第2ホール**  
(福島市霞町1-52 2F)

①意見交換会

第1部テーマ

「高齢者が元気に過ごせる地域づくり」

- ①発表(プレゼンテーション)
- ②グループ意見交換会

②意見交換会

第2部

「皆さんのご意見をもとに自由に意見交換」

市政全般へのご意見・要望に対して、お伺いします。

市民の皆様、お誘い合わせのご参加を心よりお待ちしております。  
なお、いただいたご意見は後日、議会にて反映してまいります。

お問い合わせ

福島市議会・真政会

TEL.535-1111 FAX.533-7614

尾形 武



相談役

文教福祉常任委員  
東京2020オリンピック・パラリンピック調査特別委員会副委員長

松川町浅川字大古内9  
TEL: 548-7683

真田 広志



相談役

文教福祉常任委員  
議会運営委員  
予算特別委員会委員長

松浪町 1-15  
TEL: 526-3201

宍戸 一照



顧問

総務常任委員  
監査委員

荒井字上町裏 10  
TEL: 593-1035

渡辺 敏彦



顧問

経済民生常任委員  
東京2020オリンピック・パラリンピック調査特別委員

松川町字青麻山 3  
TEL: 567-2660

黒澤 仁



会長

経済民生常任委員  
予算特別委員会理事

飯野町大久保字  
谷津 44  
TEL: 562-3582

二階堂 武文



総務会長

文教福祉常任副委員長  
東京2020オリンピック・パラリンピック調査特別委員会理事

町庭坂字内町 51-2  
TEL: 591-1138

萩原 太郎



総務会参与

総務常任委員  
議会運営委員  
予算特別委員会理事

山口字下屋敷 28-2  
TEL: 535-4693

誉田 憲孝



幹事長代行

経済民生常任副委員長  
議会運営委員

本内字西畑 4-6  
TEL: 553-7030

大平 洋人



幹事長

建設水道常任委員長

八島田字東本庄町 4-27  
TEL: 559-2043

小松 良行



副会長

総務常任委員長  
東京2020オリンピック・パラリンピック調査特別委員

瀬上町字東町 2-6-10  
TEL: 553-0647

川又 康彦



政調会長代行

建設水道常任委員  
議会運営委員  
予算特別委員会理事

飯坂町字湯町 25  
TEL: 542-4251

白川 敏明



政調会長

建設水道常任委員  
議会運営副委員長

飯坂町字中原 36  
TEL: 542-4041

編集後記

今年もゴールデンウィークが近づいてきました。皆様のご予定はいかがでしょう。今年は4月28日からの前半と5月3日からの後半でピークが二つできそうです。その中でも前半は各施設とも予約に余裕もあるようですのでご家族や知り合いなどでお出かけしてはいかがでしょうか。今年のおすめはなんとといってもスポーツです。平昌オリンピックも盛り上がりしましたが、何ととっても福島市は2020年東京オリンピック開催地のひとつです。日頃の運動不足解消のためにもこのゴールデンウィークからのスポーツデビューはいかがですか？